

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第45週の発生動向

### 全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 11 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。  
5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60 歳代	男	腸結核	腹痛
			70 歳代	男	肺結核	画像所見有り
			80 歳代	女	結核性胸膜炎	発熱
		都城	70 歳代	男	肺結核	咳、痰
		延岡	70 歳代	男	肺結核	血痰
		日南	80 歳代	男	肺結核	咳、痰
		小林	10 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			10 歳代	男	無症状病原体保有者	—
10 歳代	男		無症状病原体保有者	—		
10 歳代	女		無症状病原体保有者	—		
5類	アメーバ赤痢	小林	40 歳代	男	腸管アメーバ症	粘血便、大腸粘膜異常所見
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	0 歳	男	患者	尿路感染症 原因菌( <i>Raoultella ornithinolytica</i> )
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	40 歳代	男	無症候性キャリア	—

### 定点把握の対象となる 5 類感染症

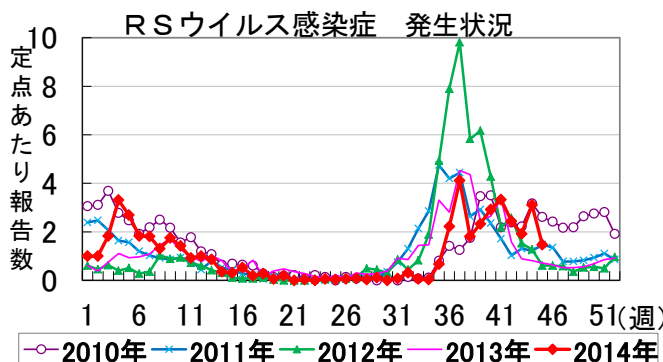
・定点医療機関からの報告総数は 439 人 (定点あたり 12.5) で、前週比 73%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

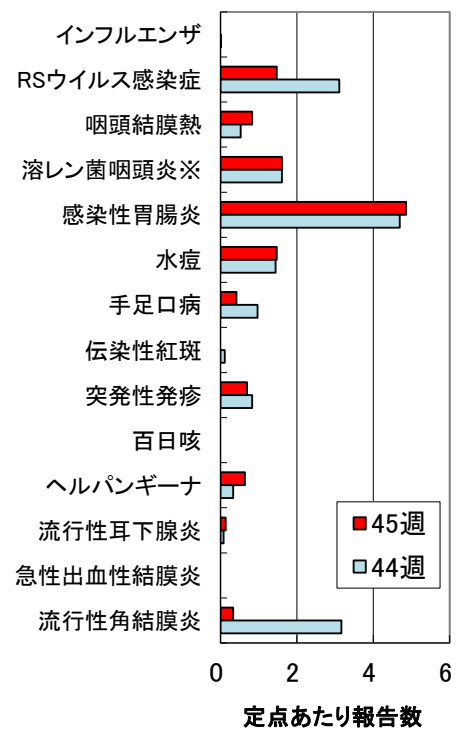
##### 【RSウイルス感染症】

・報告数は 53 人 (1.5) で、前週比 47%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\* (1.6) の約 0.9 倍であった。年齢別では 6 ヶ月～1 歳が全体の約 6 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

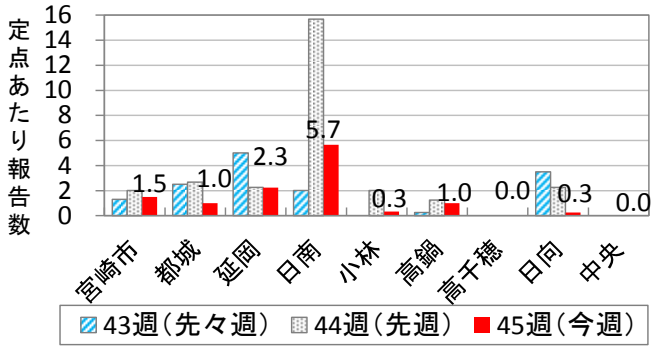


### 《前週との比較》

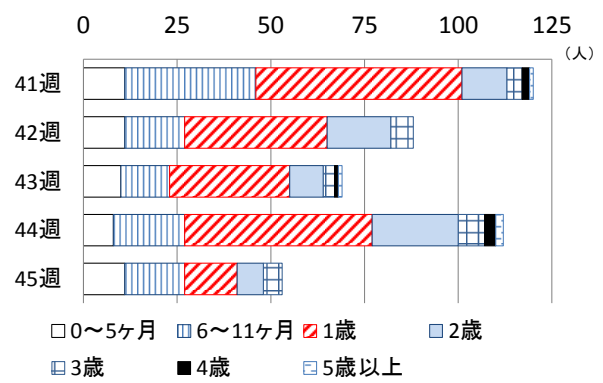


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

RSウイルス感染症 保健所別推移 (3週分)



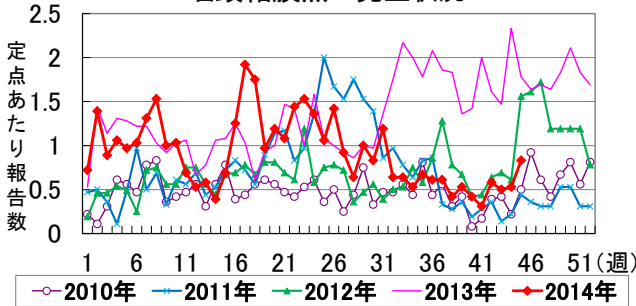
RSウイルス感染症 年齢別推移 (5週分)



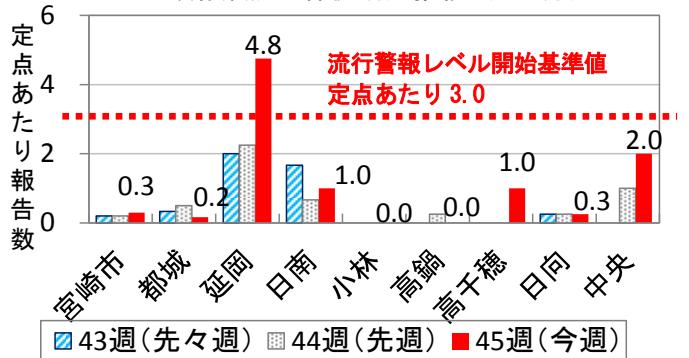
【咽頭結膜熱】

・報告数は 30 人 (0.83) で、前週比 158%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\* (0.83) と同じであった。延岡(4.8)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月~1歳が約4割を占めた。

咽頭結膜熱 発生状況



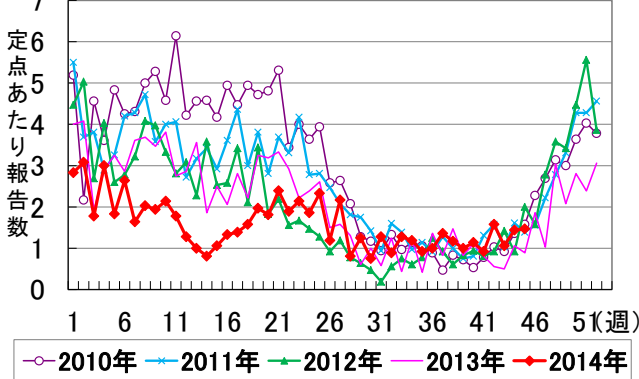
咽頭結膜熱 保健所別推移 (3週分)



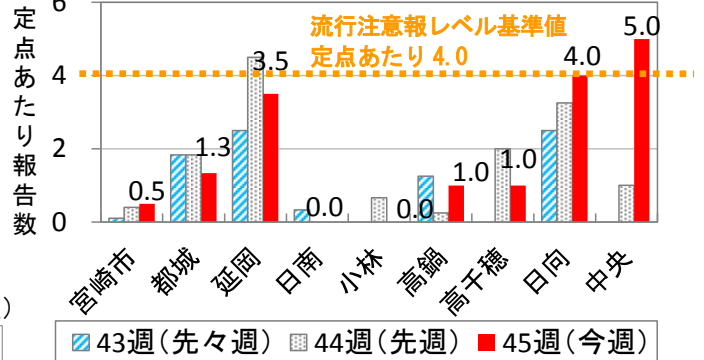
【水痘】

・報告数は 53 人 (1.5) で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\* (1.5) と同程度であった。年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

水痘 発生状況



水痘 保健所別推移 (3週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭結膜炎(4.8)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	水痘(4.0)
中央	水痘(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※

・咽頭結膜熱(3.0)

※流行注意報レベル基準値※

・水痘(4.0)

## 🚩 全国第 44 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 44 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	316 例				
3類感染症	細菌性赤痢	11 例	腸管出血性大腸菌感染症	53 例		
4類感染症	A型肝炎	2 例	つつが虫病	9 例	デング熱	2 例
	日本紅斑熱	5 例	レジオネラ症	24 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	14 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	19 例
	破傷風	1 例	風しん	3 例	麻しん	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 115%と増加した。今週増加した疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 3,423 人(1.1)で、前週比 127%と増加した。熊本県(3.3)、山形県(3.2)、宮崎県(3.1)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～1歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 13,229 人(4.2)で、前週比 117%と増加した。大分県(7.1)、香川県(6.7)、富山県(6.5)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約半数を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 <10月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比95%と減少した。また、昨年10月(2.3)の約1.3倍であった。

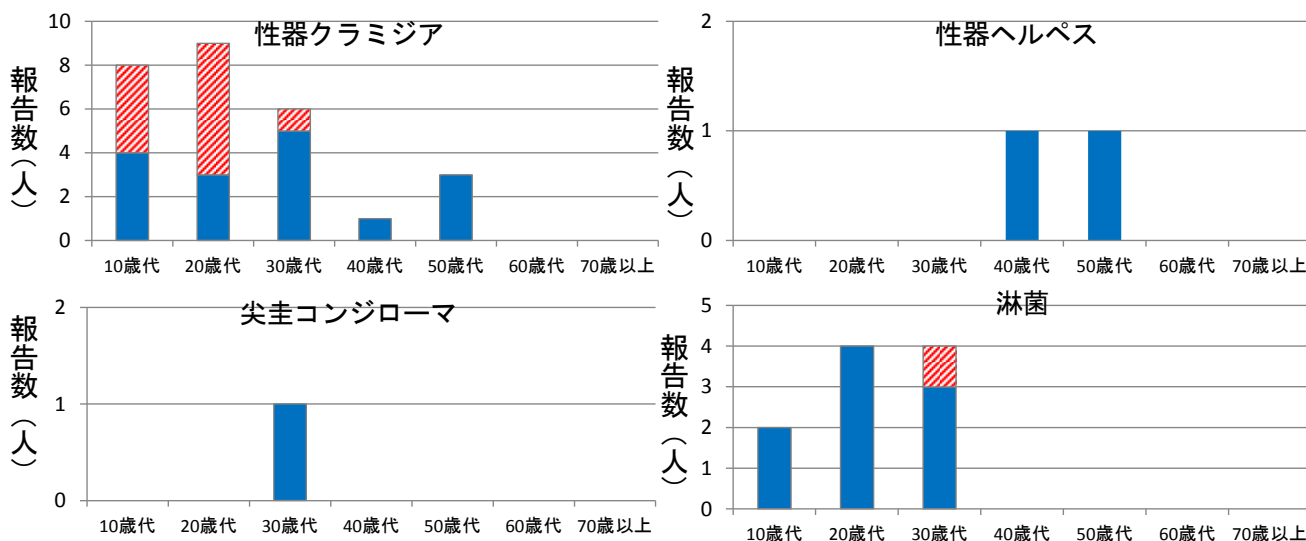
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月の約0.9倍、昨年10月の約1.4倍であった。  
年齢別では10歳代・20歳代がそれぞれ全体の約3割を占めた。  
(男性16人・女性11人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月の約0.7倍、昨年10月の約0.3倍であった。(男性2人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年10月と同じであった。(男性1人)

○淋菌感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.1倍、昨年10月の約2.5倍であった。20歳代・30歳代がそれぞれ全体の4割を占めた。(男性9人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：965

定点医療機関からの報告総数は4,264人(4.4)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,194人(2.3)で前月比98%、性器ヘルペスウイルス感染症744人(0.77)で前月比99%、尖圭コンジローマ483人(0.50)で前月比100%、淋菌感染症843人(0.87)で前月比93%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で前月比71%と減少した。また昨年10月(3.7)の約0.6倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の約0.7倍、昨年10月の0.6倍であった。70歳以上が全体の8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：471

定点医療機関からの報告総数は1,623人(3.4)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,428人(3.0)で前月比95%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症176人(0.37)で前月比123%、薬剤耐性緑膿菌感染症19人(0.04)で前月比80%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第45週(11月03日～11月09日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点あたり	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	112	53	15	6	9	17	1	4		1	
	定点あたり	3.11	1.47	1.50	1.00	2.25	5.67	0.33	1.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	30	3	1	19	3			1	1	2
	定点あたり	0.53	0.83	0.30	0.17	4.75	1.00	0.00	0.00	1.00	0.25	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	58	15	3	9	3	3	7	1	17	
	定点あたり	1.61	1.61	1.50	0.50	2.25	1.00	1.00	1.75	1.00	4.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	169	175	45	31	7	32	24	12	2	17	5
	定点あたり	4.69	4.86	4.50	5.17	1.75	10.67	8.00	3.00	2.00	4.25	5.00
水痘	報告数	52	53	5	8	14			4	1	16	5
	定点あたり	1.44	1.47	0.50	1.33	3.50	0.00	0.00	1.00	1.00	4.00	5.00
手足口病	報告数	35	15	2	10		2			1		
	定点あたり	0.97	0.42	0.20	1.67	0.00	0.67	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	4										
	定点あたり	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	25	12	4	4		1	3		1	
	定点あたり	0.83	0.69	1.20	0.67	1.00	0.00	0.33	0.75	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	12	23	5	1	6	5	2			4	
	定点あたり	0.33	0.64	0.50	0.17	1.50	1.67	0.67	0.00	0.00	1.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	5		2	2			1			
	定点あたり	0.08	0.14	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	2	2								
	定点あたり	3.17	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～45週)

2類感染症	結核	215例(11)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	5例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	12例				
5類感染症	アเมอร์バ赤痢	5例(1)	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	3例(1)
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	11例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
	梅毒	10例	破傷風	1例	風しん	3例
	麻しん	4例				

( )内は今週届出分、再掲